

建築音響研究会

委員長 佐藤 史明
副委員長 阪上 公博
幹事 池上 雅之, 上野 佳奈子, 岡本 則子

共催シンポジウム

題名 第65回音シホジウム「室内音響における“拡散”研究の最近の動向と今後の展開」
日時 平成21年3月27日(金) 13:00~17:50
場所 日本建築学会 建築会館 ホール(東京都港区芝5丁目26番20号)
JR田町駅下車 徒歩約3分(交通アクセス <http://www.aij.or.jp/jpn/guide/map.htm>)
(敷地南側の入り口から中庭に入り、右手(東側)の建物がホールです)
主催 日本建築学会 環境工学本委員会 音環境運営委員会 室内音響小委員会
費用 参加費無料(資料代1000円(必要な方のみ))
申込 メールによる事前申込制です。参加ご希望の方は hanyu@arch.jcn.nihon-u.ac.jp までメールしてください。その際メール表題を「拡散シホジウム申し込み」とし、メール本文に参加される方の「氏名および所属」を記入してください。
趣旨 室内音響設計の重要な要因である“拡散”については古くから研究されているが未解明な点も多い。最近、国内外において拡散に関する研究が活発化しつつある。壁面の拡散性の測定法のISO化など新たな動きもある。古くて新しいテーマである“拡散”に関する現状と今後の展開について議論したい。“壁面の拡散”と“音場の拡散”は別であるが、原因と結果、因果の関係なので、本シンポジウムではどちらか一方ではなく両者を議論したい。

プログラム 第1部 13:00~16:10 (一題あたり35分)

現在進行形の“拡散”の研究について議論する。以下すべて仮題

<趣旨説明> 岸永伸二(小委員会主査/ヤマハ)

- 1) 室内音響における拡散研究の流れ 尾本章(九州大学)
- 2) 音場の拡散と空間印象について 森本政之(神戸大学)
- 3) 壁面の拡散性の定義と測定法 佐久間哲哉(東大新領域)

<休憩> 10分

- 4) コンピュータシミュレーションによる音場拡散の検討

坂本慎一(東大生研) 横田考俊(小林理研) 橘秀樹(千葉工大)

- 5) 音場における拡散のテンソル表現 羽入敏樹(日本大学)

<休憩> 10分

第2部 16:20~17:50 (90分)

室内音響を牽引してきたベテラン研究者に、古くて新しいテーマである“拡散”についてパネルディスカッション形式で対談していただく。室内音響において拡散がどのように研究されてきたかを語っていただくとともに、今後の可能性について議論していただく。

司会: 安岡正人(東京理科大学)

パネリスト: 橘秀樹(千葉工業大学), 森本政之(神戸大学)

藤原恭司(九州大学), 関口克明(日本大学)

<閉会挨拶> 佐藤史明(建築音響研究委員会委員長/千葉工業大学)

・シホジウム終了後、懇親会を予定しています。

☆建築音響研究会の今後の開催予定 [] 内発表申込/原稿締切日

4月24日(金) 明治大学駿河台キャンパス(東京都) [2月23日(月)/4月10日(金)]

テーマ: 保育・教育施設の音環境

☆建築音響研究会の情報は下記のホームページに掲載しています。是非ご覧下さい。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/asj/AA/>

☆建築音響研究会の発表申込・問合先

池上 雅之（大林組） Tel:042-495-1104, E-mail:ikegami.masayuki@obayashi.co.jp

上野 佳奈子（明治大学） Tel:044-934-7273, E-mail:uenok@isc.meiji.ac.jp

岡本 則子（大分大学） Tel:097-554-6406, E-mail:nokamoto@cc.oita-u.ac.jp